



緑が目に見え鮮やかな季節となりました。

新校舎での学校生活も一月が経とうとしています。子ども達は、登下校時や給食運搬、避難訓練などの動線や、体育館への移動のしかたなど、大きく変わった様式にもすっかり慣れて、元気いっぱい過ごしています。廊下を歩くと、「〇年生になって頑張りたいこと」や「1年間よろしくお願いします」などの作品が掲示してあって、子ども達のキラキラした意気込みや期待が見えるようです。

毎朝、校門のところで子ども達を迎えていると、兄姉が1、2年生の弟妹を守るように側に付きながら仲良く登校してくる姿が見られます。ほほえましい光景です。兄弟姉妹ではなくても、近所の友達やふれあい班の上級生下級生が数人で集まって歩いてきたりもしています。学校の登下校門沿いの道は、狭いわりに車通りもあるので、皆、行儀よく1列に並んで歩いています。

そういえば5月には、毎年この時期に「春の交通安全運動」が全国で展開されます。(今年は、11日(木)から20日(土)の10日間)本校はご存じの通り、この期間に限らず、毎朝、地域の学援隊の皆さんが、ところどころの交差点に立って、雨の日も風の日も子ども達の安全を見守ってくださっています。また、校外委員さんをはじめとする保護者の皆さんも、交代で旗振りをしてくださっています。大きな幹線道路に挟まれている都岡小学校ですが、こうした地域や保護者の方々の不断の努力によって子ども達が守られていることを思うと、感謝の念に堪えません。

先日、ニュースを見ていると、「1年生はこの時期、交通事故に特に注意」という内容の話が取り上げられていました。1年生は登下校や放課後の遊びなど、保護者の手を離れて一人歩きをする年頃です。行動範囲も広がりますが、一方、まだまだ注意力や心身の発達は十分ではありません。歩行者の「若葉マーク」と言ったところでしょうか。

「政府広報オンライン」(<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/>)によると、

- ・小学1年生の交通事故死者・重軽傷者数は6年生の3.2倍
- ・1年生の事故の第1のピークは5月中旬(下校中および私用)
- ・歩行中の死者・重傷者の約4割は飛出しが原因
- ・低学年は歩行中、学年が高くなると自転車乗用中の割合が高くなる
- ・・・とありました。学校では、保護者や交通安全協会の方々のお力をお借りして、毎年、交通安全教室を行っています。学区の中には、車通りの多い道、細くて見通しの悪い道、歩道が十分に整備されていない道など、危険な箇所がたくさんあります。子ども達の命を守るために、ぜひご家庭でも安全な歩き方や交通ルールについてお話してください。登下校時の見守りについても、積極的にご協力いただけたら幸いです。ランドセルを背負って元気いっぱいに登校してくる子ども達の日常が安全であるように、学校でも、折にふれて指導を行ってまいります。今月もどうぞよろしくお願いいたします。